

カブール国際空港保安機能強化計画【アフガニスタン】

施策所管局課 国別開発協力第三課

評価年月日 令和6年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	アフガニスタン・イスラム共和国
(2) 案件名	カブール国際空港保安機能強化計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	カブール国際空港において、保安施設の改善や保安機材の整備を行うことにより、効率的かつ効果的なセキュリティチェックの処理能力の向上を図り、もって、同空港の安全性を高め、同空港の混雑緩和や航空便の定時発着性の向上に寄与するものである。 案件の内容 ・セキュリティセンターの建設（車両検査施設、国境警察の監視施設等） ・国際線旅客ターミナルビルの改修 ・保安検査関連機材の調達（各種 X 線検査装置、爆発物検知装置、金属探知機、爆発物隔離コンテナ等） ・大型・小型バス ・コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成 25 年 5 月 21 日 イ 供与限度額：44.27 億円
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、同国最大のカブール国際空港の利用旅客数が急増しており、空港を利用する車両や旅客の保安検査を行うための設備の不足を解消することが急務であった。また、旅客数の急増に伴い、国際線旅客ターミナルビルのチェックインエリア、出国審査場、保安検査場等も混雑が増していたことから、この改修も課題となっていた。 イ 事業遅延に関する経緯・現状

	治安悪化による一時中断後、事業再開（ドバイから遠隔）するも、2020 年 11 月の入札は不調に終わり、2021 年 7 月の再入札は関心表明者（1 社）が辞退。対応検討中の 2021 年 8 月にタリバーンが政権を掌握し、2022 年 1 月に事業は再び中断。以後、停滞中。
（2）今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズは引き続きあると思われるが、閣議決定後、長期間が経過しており、事業再開の目途も立たないことから、外交方針も踏まえて日本側での対応の検討を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料